

仕様書(個別)

1. 目的

ねんりんピック彩の国さいたま 2026 において、さいたま市実行委員会が開催する監督会議の会場及び交流大会の会場に必要な仮設物、既存備品、市貸与物品、作製看板等の設営、保守管理及び撤去等を行う。

2. 件名

会場設営撤去等業務

3. 履行期間

契約締結日から令和 8 年 11 月 11 日（水）まで

※設営、撤去期間については、甲と十分に協議し、その指示に従うこと。

4. 履行場所

(1) 監督会議の会場

ア さいたま共済会館

(〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 7-5-14)

イ 埼玉会館

(〒330-8518 さいたま市浦和区高砂 3-1-4)

(2) 交流大会の会場

ア 大宮第二公園テニスコート

(〒330-0805 さいたま市大宮区寿能町 2-405)

イ 埼玉スタジアム 2002

(〒336-0967 さいたま市緑区美園 2-1)

ウ 駒場運動公園

(〒330-0051 さいたま市浦和区駒場 2-1-1)

エ 八王子スポーツ施設

(〒338-0006 さいたま市中央区八王子 4-1-10)

オ サイデン化学アリーナさいたま（さいたま市記念総合体育館）

(〒338-0835 さいたま市桜区道場 4-3-1)

カ レジデンシャルスタジアム大宮（さいたま市営大宮球場）

(〒338-0805 さいたま市大宮区寿能町 2-519)

キ アイル・スタジアム浦和（さいたま市営浦和球場）

(〒330-0052 さいたま市浦和区本太 4-25-10)

ク 岩槻川通公園野球場

(〒339-0011 さいたま市岩槻区長宮 825-5 川通公園内)

ケ 武蔵一宮氷川神社

(〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町 1-407)

コ 大宮公園

(〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町 4 丁目)

サ RaiBoC Hall (市民会館おおみや)

(〒330-0846 さいたま市大宮区大門町 2-118)

5. 主な業務内容

乙は、甲の指示に従い、次の業務を行う。

< 監督会議 >

令和 8 年 11 月 7 日 (土) に行われる監督会議について、別添 11「設営物・物品等内訳 (予定)」に記載の設営物を設営し、撤去すること。

< 交流大会会場の準備 >

- (1) 各交流大会会場の管理者及び各種目別競技主管団体と甲との協議に同席し、その結果を踏まえて、乙の有する各交流大会会場の設計図面を更新すること。
- (2) 協議に同席した際には、効率的・効果的な設営・撤去作業の方法等を積極的に提案すること。
- (3) 更新した設計図面を甲に提出すること。

< 交流大会会場の設営等 >

- (1) 別添 11「設営物・物品等内訳 (予定)」に記載の設営物を、各回会場に設営し、撤去すること。
- (2) 甲において、各交流大会会場での飲食・物販出店希望者を公募予定である。これについて応募があった場合に、保健所等での必要な手続きを支援すること。
- (3) 全国から来県する選手団等への温かいおもてなしの一環として、67 都道府県・政令市の「ご当地歓迎・応援のぼり旗」を各交流大会会場に設置予定である。乙においては、甲から提供される「ご当地歓迎・応援のぼり旗」を以下の種目に設置すること。

ご当地歓迎・応援のぼり旗の仕様

サ イ ズ: 幅 600mm×縦 1,800mm

材 質 等: ポンジ (非防炎)

数 量: 402 枚 (1 セット 67 枚×6 セット=402 枚)

縫製仕立て等: チチ (上部 3 ヶ所、左辺 5 ヶ所)、周囲ヒートカット、個別包装 (PP 袋など)

設置予定の種目

- ①テニス
- ②サッカー
- ③なぎなた
- ④軟式野球

※種目によって、参加者のいない都道府県・政令市があるので、詳細な設置数、設置会場については、後日、甲より指定する。

＜その他全般にわたる業務＞

- (1)看板・サイン等の装飾デザイン、制作、設置、保守、撤去業務
- (2)施設に常設されている備品、物品等の移動、配置転換、保守及び管理
- (3)甲から支給された物品の設営、撤去、保守及び管理
- (4)上記業務に必要な申請手続き、資料作成及び調整業務
- (5)その他本業務の実施に必要な業務

6. 業務内容の変更

甲は、大会運営上必要があると認めるときは、仮設物等の種類、仕様、数量、設置場所、設置方法、設営・撤去時期等について、乙と協議のうえ変更を指示することができる。業務内容の変更により契約金額に増減が生じる場合は、甲乙協議のうえ、変更契約を締結し、委託料を増減するものとする（仮設物等の一部が不要となった場合についても、同様に協議のうえ、契約金額の減額を行うことができるものとする）。

7. 消防防災・警備対策

- (1)大会開催及び運営に必要な仮設物等の整備にあたっては、非常口の確保、消防設備の保護等の消防防災対策及び雑踏事故防止、盗難防止、交通事故防止等の警備対策に十分配慮すること。
- (2)仮設物等には、必要に応じ、消火器等の消防設備を設置すること。

8. 仮設物等の仕様

- (1)仮設物等の仕様及び数量は、大きさ及び性能・機能等において別添 11「設営物・物品等内訳（予定）」に記載のものと同等品以上のものとする。
- (2)仮設物及び物品に製品の指定がある場合は当該製品とする。なお、やむを得ず指定された製品以外の物等を使用する場合は、事前に甲と協議を行うこと。
- (3)乙が用意する物品はすべて会社名等を明記し、施設備品と簡単に区別できるようにすること。

- (4) 乙が用意する物品は、錆・傷・汚損等のないものとし、指定された商品を除き統一性を持たせること。なお、甲から交換の指摘があった物品については、直ちに交換すること。
- (5) 仮設物等の使用に必要な消耗品（トナー、燃料等）は、乙の負担とし、点検補充等を行うこと。
- (6) 雨天、強風対策等を十分に講じること。
- (7) 「ねんりんピック彩の国さいたま 2026」大会に係る各種デザイン等の仕様にあたっては、ねんりんピック彩の国さいたま 2026 実行委員会が策定した「ねんりんピック彩の国さいたま 2026 ロゴ等使用要綱」及び「デザインガイドマニュアル」等を遵守すること。

9. 施設備品について

施設備品を移動した場合は、大会終了後、撤去確認時までには元の位置へ戻すこと。

10. 設営・撤去

- (1) 設営については、平面図等を参考に甲と十分協議したうえで実施にあたること。乙は、会場設営等に関して事前に現地確認を行うとともに、甲及び競技団体との綿密な打合せを行うこと。
- (2) 看板等設置場所については、甲の指示により看板を設置すること。なお、設置に必要な消耗品及び雑材は、乙の負担とする。
- (3) 乙は、設営着手から撤去終了までの期間、作業判断を下せる現場責任者を 1 名以上専任常駐させ、トラブルや事故のないように十分な安全対策を施し、円滑かつ効率的に業務を遂行すること。また、使用期間中は常に保守管理を行い、円滑な大会運営が行えるようにすること。なお、大会終了後は、甲の指示により速やかに撤去すること。
- (4) 大会終了後は、仮設物等を撤去し、会場設営に際して移動した資材、物品等を原状に復し、当該会場を原状に回復すること。なお、撤去した作製看板は、乙において処分すること。
- (5) 設営及び撤去により発生した廃棄物の処理は、関係法令に基づき、乙が責任を持って行うこと。
- (6) 設営及び撤去業務完了後、速やかに甲に報告し、甲の確認及び指示を受けること。
- (7) 乙は、当該会場施設管理者から異議又は意見があったときは、速やかに甲に報告し、その指示を受けること。
- (8) 設営及び撤去期間中は、安全確保のための人員を配置すること。

11. 設置、撤去にあたっての留意事項

- (1) O A 機器（パソコン、プリンター、コピー機）、無線機等について、大会中は万全な状態を保つこと。接続にあたっては、電気の容量等を考慮し、確実に稼動するよう設置すること。
- (2) テント及び看板類等屋外仮設物については、雨風による飛倒壊のないよう確実に固定するとともに、雨天対策を施すこと。また、設営をする場合は、既存の構造物等に破損の無いよう養生を施すこと。
- (3) 作業時に道路を使用する場合は、管轄警察署と協議を行うとともに、交通の支障にならないよう十分な対策を講ずること。
- (4) 仮設物の搬入口については、設営前にブルーシート等（必要に応じて床面の破損を確実に防げるもの。）で事前に十分な養生を行い、設営を開始すること。
- (5) 搬入、作業等においては、車両、機械のアイドリングストップに努めるなど、環境に配慮して行うこと。
- (6) 施設既存備品等と乙の備品等を、区別できるように配慮すること。

12. 保守・管理

- (1) 乙は、大会期間中、設営した仮設物等の適正な保守・管理を行い、円滑な大会運営が行えるようにすること。
- (2) 乙は、仮設物等について、破壊行為などの危害が及ばないように、適宜巡回して警備にあたること。
- (3) 仮設物等は常に使用可能な状態に保守・管理し、必要に応じて修理、交換、補充等を速やかに行うこと。その場合に要する費用については、甲の責めに帰すべき理由によるものを除き、乙の負担で行うこと。
- (4) 悪天候時により、継続して設営が困難であると甲が判断した場合は、甲の指示により、速やかに撤去を行い、天候の回復を待って甲の指示により再度設営をすること。

13. 安全対策

- (1) 屋外の仮設物等については、強風による事故等が発生しないように転倒防止措置を、適切かつ確実に施すとともに、大会期間中においても、適宜巡回して異常の有無の確認にあたること。万一、異常を発見した場合は、速やかに甲に報告するとともに、修理等適切な措置をとること。
- (2) 来場者（選手及び監督、大会関係者、一般観客等）の安全を第一とし、交通その他の混雑等を可能な限り予測して対策を施すこと。
- (3) 大型車両等による資材の搬入や作業を行う場合は、現地をよく確認し、十分に養生を行うこと。
- (4) 万一、人身事故や施設損傷など、重大な事故が発生した場合は、速やかに甲に報告するとともに、適切な応急措置をとること。

(5)災害発生又は異常事態発生時における安全対策及びその措置を講じること。

14. 緊急対策

仮設物等の倒飛壊や破損など、緊急事態に即時対応可能な保守・管理体制を作るとともに、緊急時には委託者の指示により直ちに対応すること。

15. 臨機の措置

(1)乙は、災害、事故の発生が予測される場合など、特に必要と認めるときは、甲の指示を受け、適切な応急措置をとること。

(2)不測の事故が発生した場合は、乙の判断により臨機の措置をとるとともに、直ちに甲に報告すること。また、その措置の内容について甲から指示があった場合は、速やかにその指示に応じること。

16. 保険

施設賠償責任保険・請負業者賠償責任保険等、本業務に必要な保険に加入すること。

17. 危惧負担

本業務の履行に際し、乙が受けた損害について、甲はいかなる責任も負わないものとする。ただし、甲の責めに帰すべき理由による場合は、この限りでない。

18. 損害・事故責任

本業務の履行に際し、乙の契約不適合により既設物、仮設物等への破損、紛失、第三者への損害等が発生した場合は、すべて乙の責任とし、甲はいかなる責任も負わないものとする。

19. その他

(1)各業務の実行にあたっては、甲の指示に従うこと。また、その他不明な点は、甲の指示を受けて、適切に履行すること。

(2)やむを得ない事情で、仕様書に軽微な変更があった場合は、甲乙協議のうえ対応すること。

(3)設置撤去期間に発生した破損紛失等は、すべて乙の負担とする。また、開催期間中の破損紛失等は、甲乙協議のうえ決定すること。

(4)設置撤去作業中又は乙の契約不適合により起きた第三者への損害については、甲は責任を負わないものとする。

(5)作業中の安全を確保するとともに、通行車両、通行人等を含め、他の利用者の支障にならないよう十分な対策を講じること。

- (6)本業務委託の成果品である看板図案に係る権利は、すべて甲に帰属する。
- (7)甲が指示した業務以外に、契約の範囲内において別途乙からの提案事項等がある場合は、事前に甲と協議のうえ決定すること。
- (8)災害等により、やむを得ない事情が発生した時に、大会の中止がある。その場合、既に履行した業務に係る経費については、甲乙協議のうえ、委託費として支払う。
- (9)その他、この仕様書に定めのない事項については、別途協議して決定する。

20. 提出書類

乙は、次の書類を甲に提出しなければならない。各書類等の提出期限については、別途甲が指定する日とする。

(1)契約締結後

- ・ 契約金額内訳明細書
- ・ 作業工程表
- ・ 現場管理者届
- ・ 会場図、詳細設計図
- ・ 加入した保険証書の写し
- ・ その他甲が指示するもの

(2)業務完了時

- ・ 現場撮影写真の電子データ（設営前・設営後・撤去後）
- ・ その他甲が指示するもの